

宮脇研究室への配属希望者へ

昨年度から II 類 M エリア所属の学生に加え、I 類 J 系所属の学生も公式に宮脇研に配属可能となっています。例年は II 類 M エリアでの卒研配属がスタートしてから面接内容の案内を行っていましたが、類やプログラムごとに配属ルールが異なるので、日程などを統一的に扱うことが難しくなりました。よって、宮脇研配属希望者への面談内容を、卒論配属が本格化する前に統一して公開することにしました。よって、**宮脇研への配属を希望する学生は、下記のような面接課題に取り組む必要があるということをご理解しておいてください。また必要に応じて、事前に準備しておくことも推奨します。**実際の面接をいつ実施するかは、類やプログラムごとに異なるようになる可能性が高いです。具体的にスケジュールについては、追ってお知らせいたします。

注：配属結果は上記の面接を元に決定しますが、これとは別に、**研究室での研究内容や研究室自体に対する質問や相談は随時受け付けます**ので、下記連絡先までご連絡ください。

1 面接内容

1) 宮脇が過去に執筆した論文のうちどれかひとつを選び、その論文を自ら入手し、その**論文の内容について要約したうえで、論理的に批判する**。論文の内容とその批判は**プレゼンテーションの形で発表**する。発表時間は**10分程度**とする。

- － 論文は、宮脇研究室のホームページや google scholar などを参照し、その中からひとつ選ぶこと。
- － おすすめ論文は、

- [1] Miyawaki et al., “Visual image reconstruction from human brain activity using a combination of multiscale local image decoders,” *Neuron*, vol.60, pp. 915-29 (2008).
- [2] Horikawa et al., “Neural decoding of visual imagery during sleep,” *Science*, vol.340, pp. 639-42 (2013).
- [3] Sato et al., “Information spreading by a combination of MEG source estimation and multivariate pattern classification,” *PLoS ONE*, vol.13, e0198806 (2018).
- [4] Umezawa et al., “Bodily ownership of an independent supernumerary limb: an exploratory study,” *Scientific Reports*, vol. 12, 2339 (2022).
- [5] Akamatsu et al., “Spatiotemporal bias of the human gaze toward hierarchical visual features during natural scene viewing,” *bioRxiv*, doi: <https://doi.org/10.1101/2022.06.08.495305> (2022).

など（電通大の学生であればいずれも無料で閲覧可能；閲覧出来なかった場合は、研究室に相談のこと）。その他の論文でももちろんよい。

- － ノート PC とパワーポイントなどを活用して発表すること。発表には**必ず論理的批判を含めること。遠慮無用。痛烈な批判を期待**する。

【重要な注意】本課題に取り組むうえで、質問や分からない点があれば、**研究室の先輩に積極的に連絡をとり、質問をたくさんし、不明な点を解消したり、あるいは発表の仕方についてアドバイスを受けてもらうことを非常に強く薦める**。困難な課題にどのように取り組んだかも重要な評価対象となる。ありとあらゆる手を尽くして（不正はダメだけど）、課題に取り組むこと。

2) 当研究室の志望動機、興味のある研究内容、将来の進路の予定などについて述べる。

2 面接日時の希望連絡

面接可能候補日時は追って連絡する。面接時間は、ひとりあたり 1 時間強程度を予定。連絡先は下記参照。

3 面接場所

Zoom を用いた遠隔面接とする。Zoom の URL は配属希望者に後ほど連絡する。

4 連絡先

面接課題に関する質問 members@cns.mi.uec.ac.jp

面接日時の希望連絡、その他研究内容や研究室自体に対する質問 yoichi.miyawaki@uec.ac.jp